

### ワークライフバランス推進座談会

# 多様な働き方実現を

## 県内企業経営者ら討論

県内の経営者向け座談会（奈良市主催）が19日、同市春日野町のザ・ヒルトップテラス奈良で開かれた。県内9企業の経営者ら10人が参加し、講演やグループ討論などを通して働き方改革や女性活躍推進について見識を深めた。

### 「タカギ」副社長 実体験を交えて講演

多様な働き方の実現と普「ワークライフバランス推進事業の及を目指す、同市のワーク」一環、インナーウェア製造



ワークライフバランスへの取り組みなどについて意見を交換する参加者＝19日、奈良市春日野町のザ・ヒルトップテラス奈良

販売の「タカギ」（橿原市）

の高木鎮広副社長が「優秀な人材の雇用と、一人一人が持続的に活躍できる環境づくり」をテーマに講演した。

高木氏は、赤字体質で社員が高齢化している状態を正常化させ、魅力的な会社として存続させるために、仕事と家庭の両立、女性活躍推進を中心に取り組んだ経営改革を紹介。リモートワークやフレックスタイム制、完全週休2日制など、働きやすく家庭との両立もしやすい社内制度改革についても説明した。

一方で、社員一人一人と

じっくりと向き合い、業績や多方面での会社への貢献度に対する正当な評価を昇進、昇給につなげる評価制度の導入にも言及。目標管理シートの作成では、社員が取り組みやすい内容から始め、目標達成度の可視化、会社の行動指針との運動、役職員の評価まで段階的に高めた手法と成果を、失敗談も交えて語った。

このあと、参加者はグループに分かれ、ファシリテーターの赤松邦子氏の先導で座談会を実施。講演内容を踏まえ、自社でできること、難しいこと、ワークライフバランスや女性活躍の推進に何が障壁なのかを互いに語り合

い、課題解決への考えを深めた。最後に、これからやり遂げようとすることをおのれの宣言、社内改革への意気込みを示した。

奈良市は来年度以降、小規模事業者各社のワークライフバランス推進に向け、より密度の高い伴走支援を実践することとしている。